

目標達成計画

作成日：平成31年1月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望	一人ひとりの思いを尊重し生活パターンやその日の健康状態に応じて出来ることを行う。個別に見合ったケアを行う。思いが満たされ充実した生活が送れるよう支援する。	外出できる利用者は散歩、ドライブを兼ねた買い物や図書館などにも出掛ける。歩行困難の利用者は楽しめるお好きなレクリエーションを提供しながら身体を動かし、機能維持に努める。定期的に日本舞踊、ギター、カラオケ、大正琴などのボランティアの訪問を企画する。利用者や家族との会話の中で思いや意向を確認していく。	12ヶ月
2	35	災害対策について土砂災害等の避難方法についてマニュアルに記載はあるが、実際にその通りに行動できるかの検証は行われていない。	土砂災害警戒区域であるため火災や地震、土砂災害時に、利用者が避難できる方法を全職員が共有できるようにしていく。地域住民の方にも協力していただけるよう関係作りを行っていく。	災害を想定し2ヶ月に1度を目標に避難防災訓練を実施、うち2回は消防署と連携した通報訓練を行う。事務所内に避難場所や経路を掲載し常に意識し職員会議時に確認する。運営推進会議などで近隣住民との交流も図れるように努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。